支所だより

各総合支所管内での身近な出来事や話題などを紹介します

東予総合支所

〒799-1394　周布349番地1　TEL0898－64－2700　FAX0898－65－4363

国安・吉岡地区で防災訓練を開催

昨年11月27日に雨天の中、東予西中学校の体育館をメイン会場に、総合防災訓練を開催しました。地元の住民や小・中学生らが参加し、今後想定される大規模な地震に備え、迅速な避難の徹底や災害発生時の対応について、多くのことを学びました。

▲体育館で開会のあいさつ

「避難訓練」では南海トラフ巨大地震を想定して、各自治会が指定した場所へ避難し、その状況を自治会長へ報告しました。その後はメイン会場に移動し「実践体験訓練」を各班に分かれて順番に実践。今回は熊本地震を教訓とし、新たに「オーラルケア」「排せつ・手洗い訓練」「エコノミークラス症候群・生活不活発病予防訓練」に取り組み、避難所生活に伴う心身の機能低下予防の指導を受けました。訓練終了後には、自衛隊をはじめ、婦人会や地元の皆さんが作った炊き出しをおいしくいただきました。

防災訓練に参加して、あらためて自助、共助の大切さを知り、地域の防災意識の向上につながる貴重な体験をすることができました。

▲簡易トイレの使い方を学ぶ

丹原総合支所

〒791-0592　丹原町池田1733番地1　TEL0898－68－7300　FAX0898－68－4769

有害鳥獣被害対策の新たな試み ～遠隔監視型大型捕獲檻の実証展示～

全国的に野生鳥獣による被害が問題となっていますが、丹原地区でも農作物の食害のほか、ほ場や石垣を荒らされるなど被害が年々深刻化し、農業者などの生産意欲の後退につながる大きな問題となっています。

昨年９月、愛媛県鳥獣被害防止新技術等実証展示事業として、丹原猟友会と寺尾自治会の協力のもと、寺尾地区にＩＣＴを利用した６メートル×６メートルの大型捕獲檻（左写真）を設置しました。獣が檻に侵入すればセンサーが検知し、メールが自動配信されます。その後、スマートフォンやパソコンからリアルタイムで檻内を監視し、獣の頭数などを確認しながら、遠隔操作で扉を閉めることができます。餌付けがうまくいけば、一度に複数頭を捕獲することも可能です。現在はまだ試験段階ですが、今後の成果に期待しているところです。

鳥獣被害対策の基本は、①隠れ場所をなくす、または追い払う②収穫しないまま果実を放置したり、雑草が繁茂した耕作放棄地をつくったりしない③電気柵・金網フェンスなどで囲って守る、最終手段として④捕獲することといわれています。地域が鳥獣の餌場とならないよう、農地や集落環境を改善し、有害鳥獣を寄せ付けない農地、集落を目指しましょう。

小松総合支所

〒799-1198　小松町新屋敷甲496番地　TEL0898－72－2111　FAX0898－72－4048

ラグビーで体も心も元気よく！ ～伝えたいノーサイドの精神～

県内でも数少ない小学生以下を対象としたラグビーチーム「小松少年ラグビースクール」では、経験豊富なコーチ陣のもと、子どもたちが無心に楕円（だえん）のボールを追いかけます。スクールには市外からの参加や、サクラセブンズの影響からか女子の参加もあり、体の大きさに関係なく、大会では華麗なステップやパス回しでトライを目指します。

▲仲間を信じ、全力プレー！

「チームワークの大切さを学びました」と語るのはキャプテンの手島海都（かいと）（小６）さん。「信頼し合う心や礼儀作法など、さまざまな魅力を持つラグビーの楽しさを子どもたちに伝えたい」というのが指導者一同の思いです。

そんな思いを胸に、卒団後もラグビーを続ける山田生真（いくま）さんは、小松中学校から全国屈指のラグビー強豪校である東海大学付属仰星高校（大阪）へ進み、３年生として臨んだ１月の全国高校ラクビー大会では、部員総数105人を束ねるキャプテンとして、また自身も攻守の要フランカーとして出場し準優勝しました。

スクールでは、随時見学や体験ができます。

■**練習**　毎週日曜日９時～11時、主に小松小学校

■**問合せ**　TEL090－7578－1368（長岡）